

7-15 新潟－神戸歪集中帯における最近の歪速度の時間変化

Temporal change of strain rate in and around the Niigata-Kobe Tectonic Zone

国土地理院

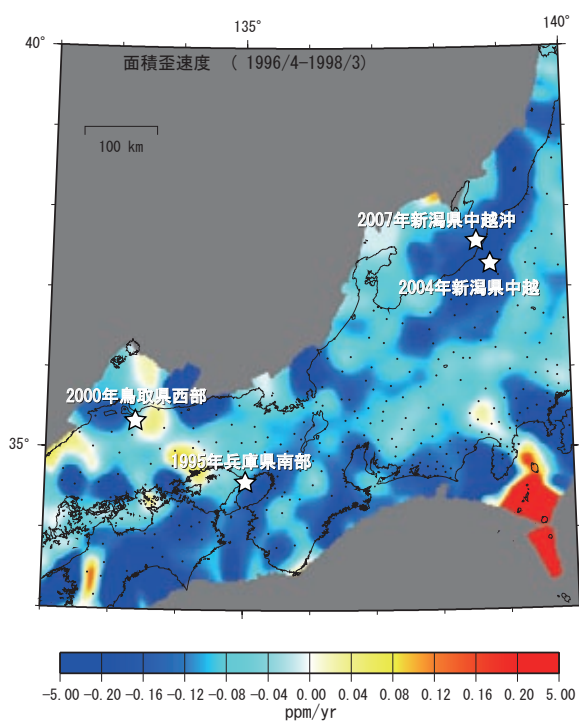
Geographical Survey Institute

GEONET による日本全国の GPS 連続観測は、開始から 10 年以上が経過した。ここでは、Sagiya et al.(2000) が GEONET データより見出した新潟・神戸歪集中（構造）帯およびその周辺における GEONET の速度ベクトルから推定される歪速度の計算結果を示す。計算する歪速度の期間は 2 年間とし、期間の開始時期を 1996 年 4 月から 1 年毎にずらして時間変化に注目した。なお、地震時のステップ状の変動は取り除いてある。図 1 は、面積歪速度、図 2 は、最大剪断歪速度を示す。新潟－神戸歪集中帯での歪速度の時間変化として特徴を挙げると、以下の 3 点のようになる。

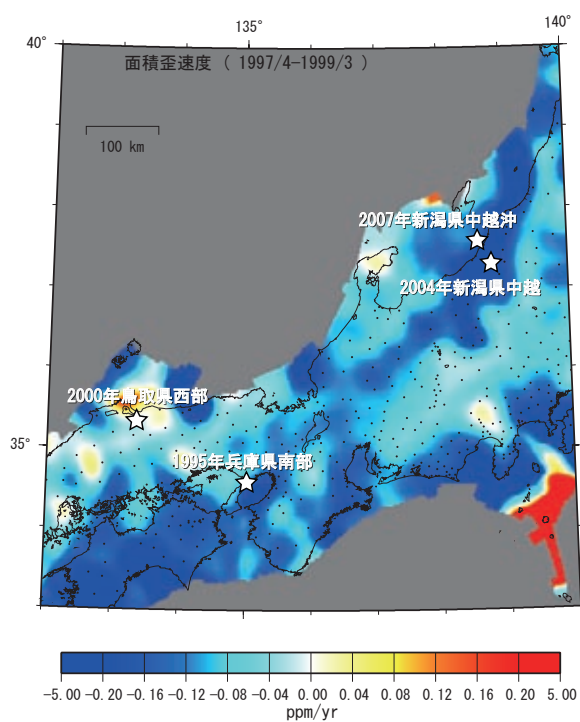
（1）新潟県地域では、2004 年中越地震以降に余効変動と見られる歪速度の増大が見られる。（2）岐阜県南部－琵琶湖にかけては、東海スロースリップの影響で 2000–2005 年に歪速度が低下し、最近では 2000 年以前の状態に戻っている。（3）阪神地域では剪断歪速度が低下傾向にあり、1995 年兵庫県南部地震の余効変動が収束してきたことを示唆していると考えられる。

参 考 文 献

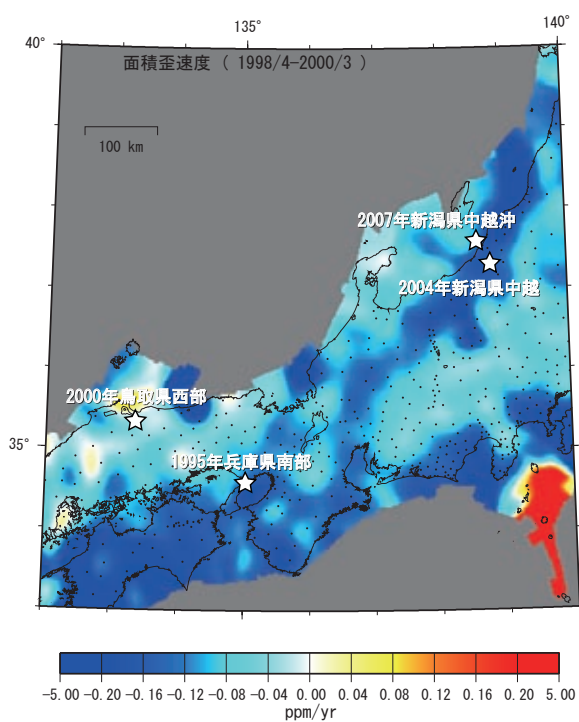
- 1) Sagiya, T., S. Miyazaki, and T. Tada, Continuous GPS array and present-day crustal deformation of Japan, Pure Appl. Geophys., 157, 2303-2322, 2000.



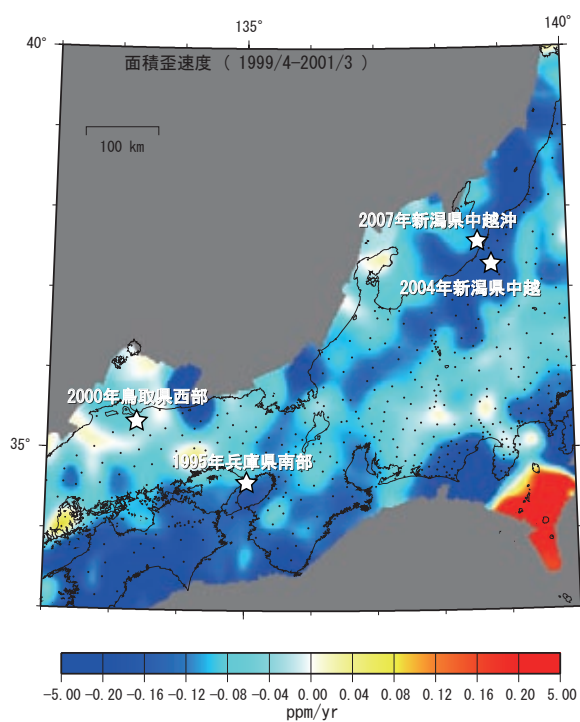
(a)



(b)



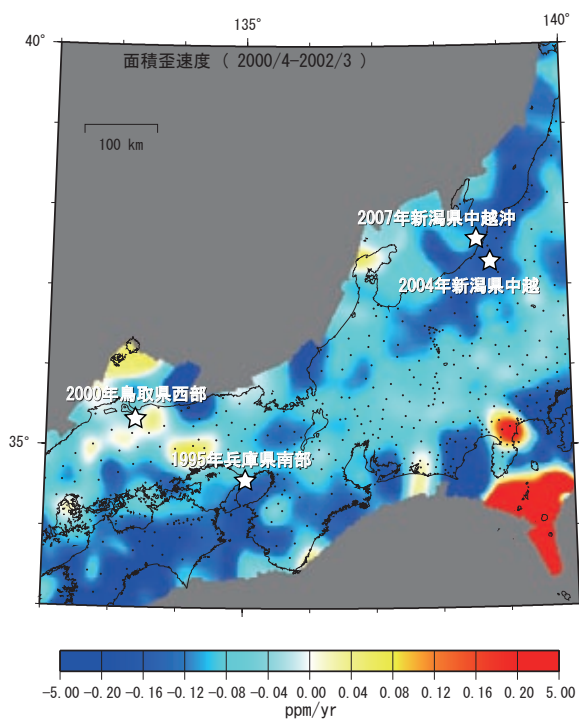
(c)



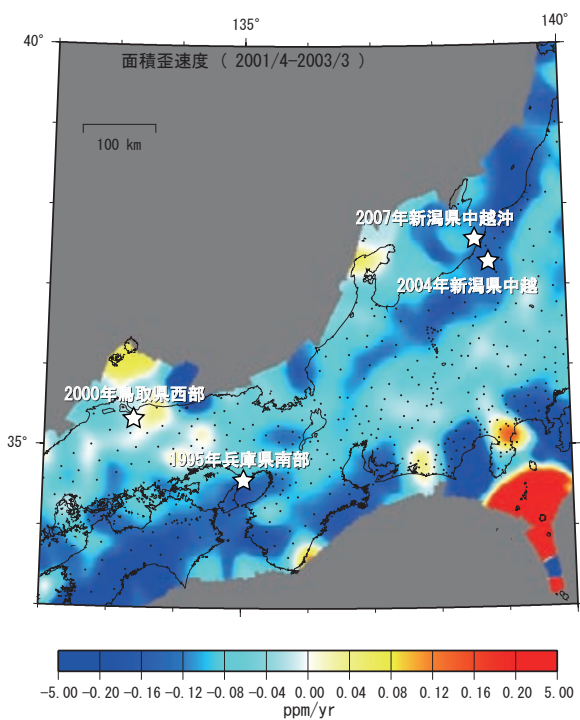
(d)

第1図 (a)-(d) GPS 連続観測データから推定した 1996–2007 年の面積歪分布。

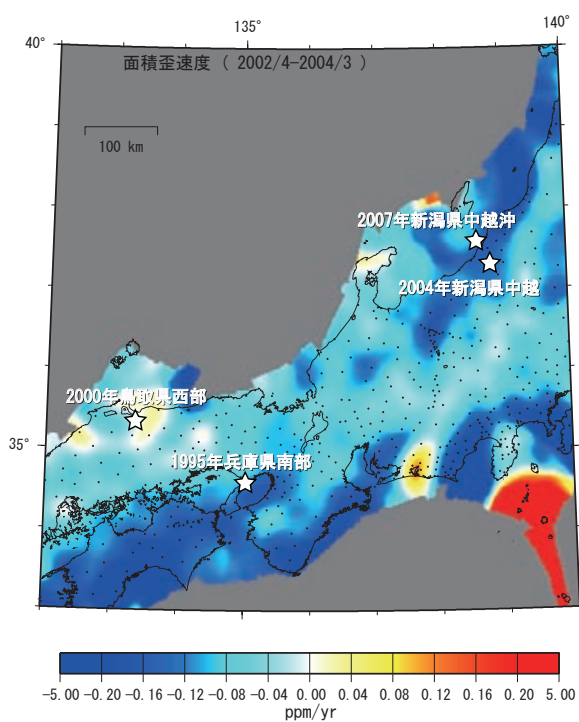
Fig.1(a)-(d) Areal strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996–2007.



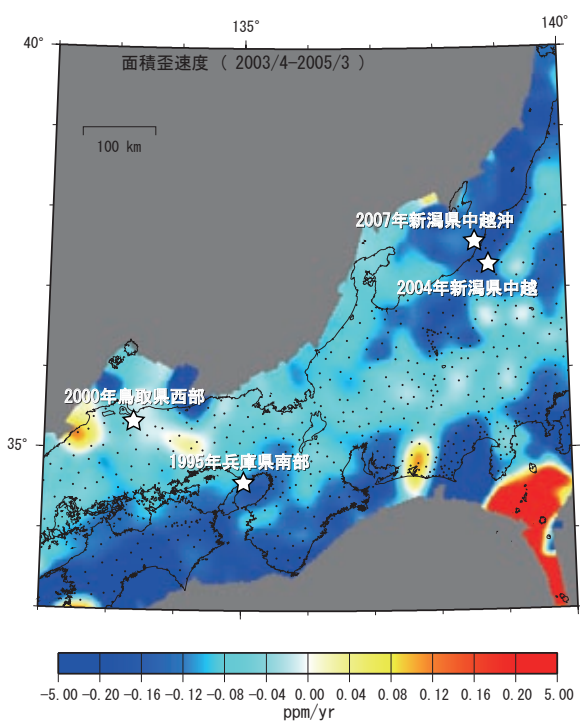
(e)



(f)



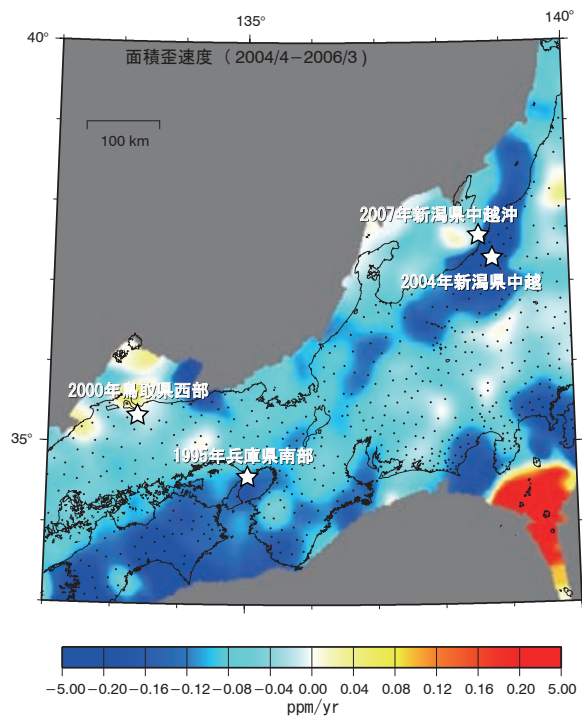
(g)



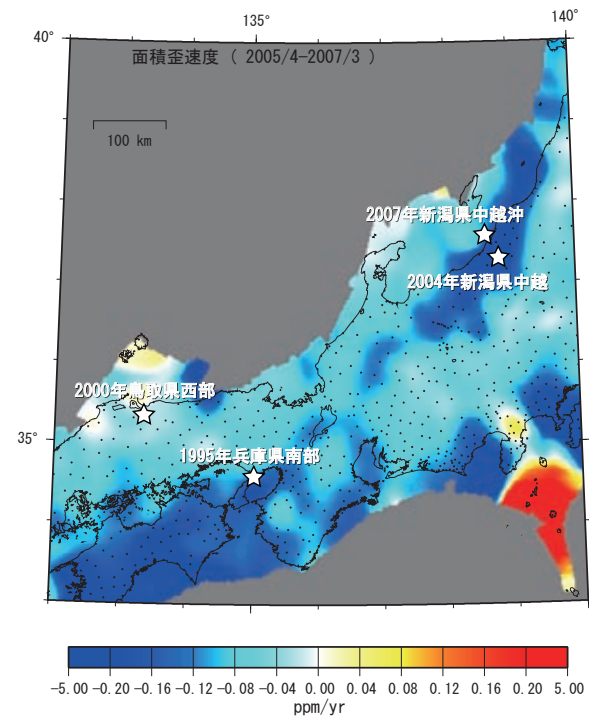
(h)

第1図 (e)-(h) GPS 連続観測データから推定した 1996-2007 年の面積歪分布。

Fig.1(e)-(h) Areal strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996–2007.



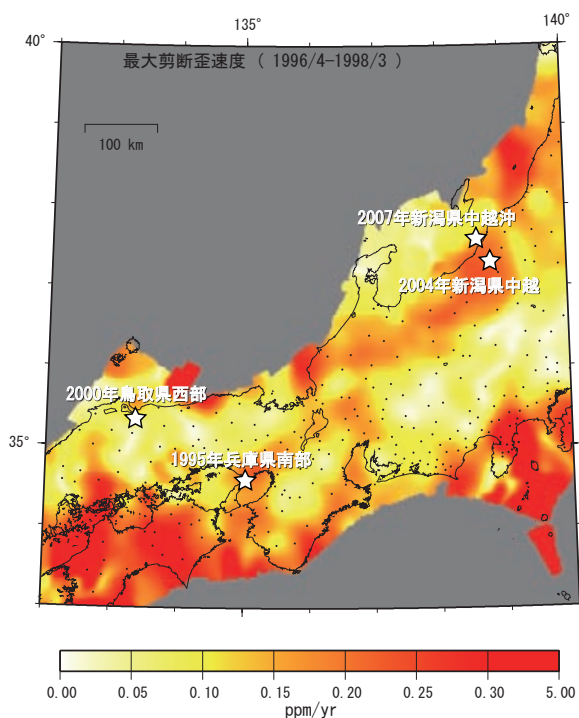
(i)



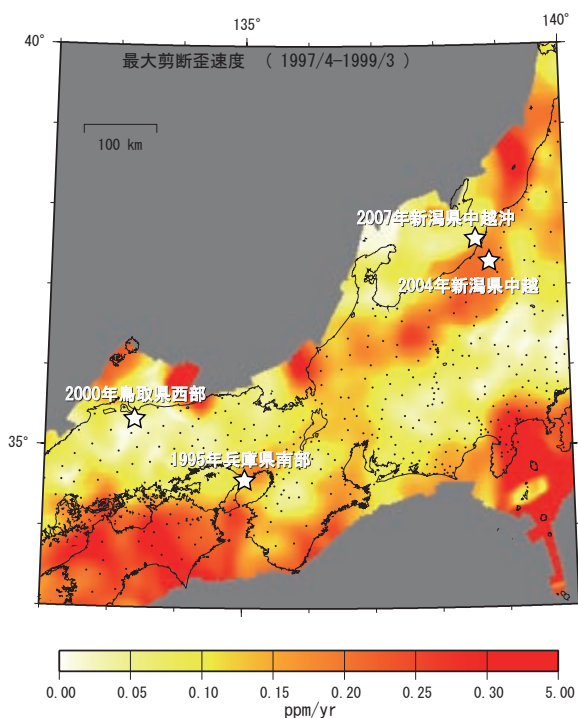
(j)

第1図 (i)-(j) GPS 連続観測データから推定した1996–2007年の面積歪分布.

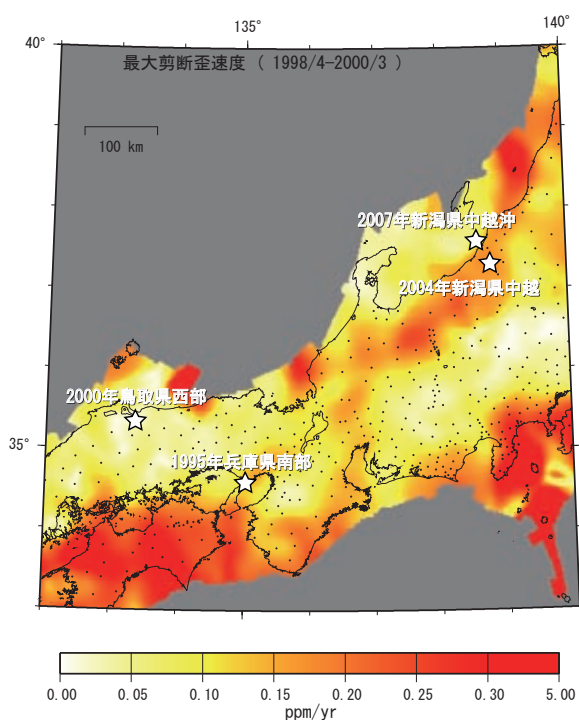
Fig.1(i)-(j) Areal strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996–2007.



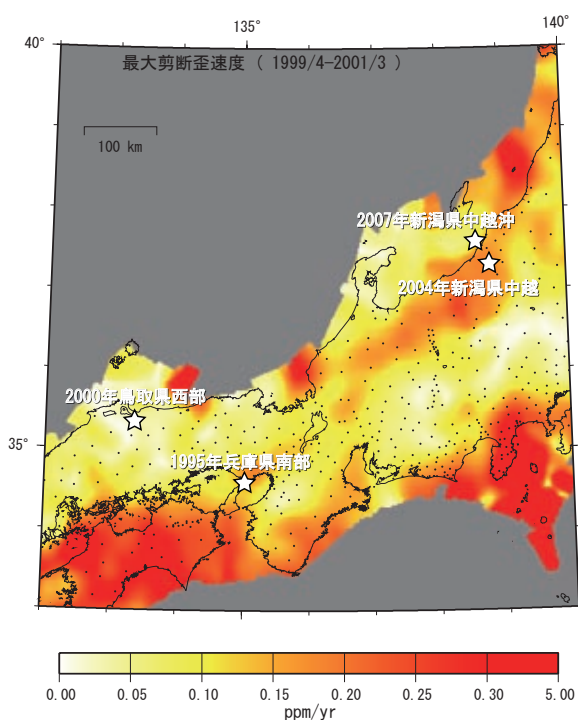
(a)



(b)



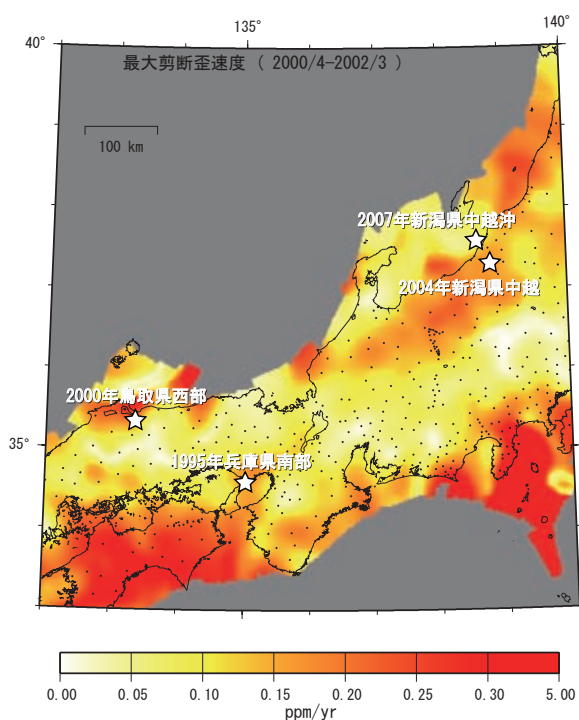
(c)



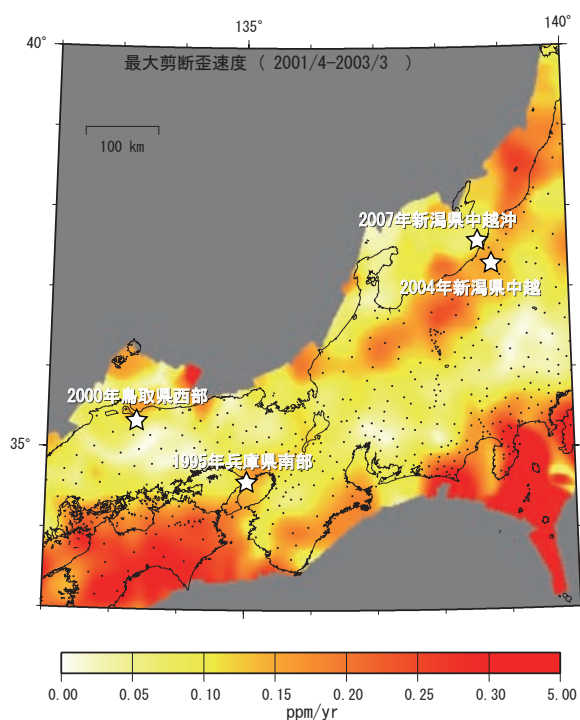
(d)

第2図 (a)-(d) GPS 連続観測データから推定した1996-2007年の最大剪断歪分布。

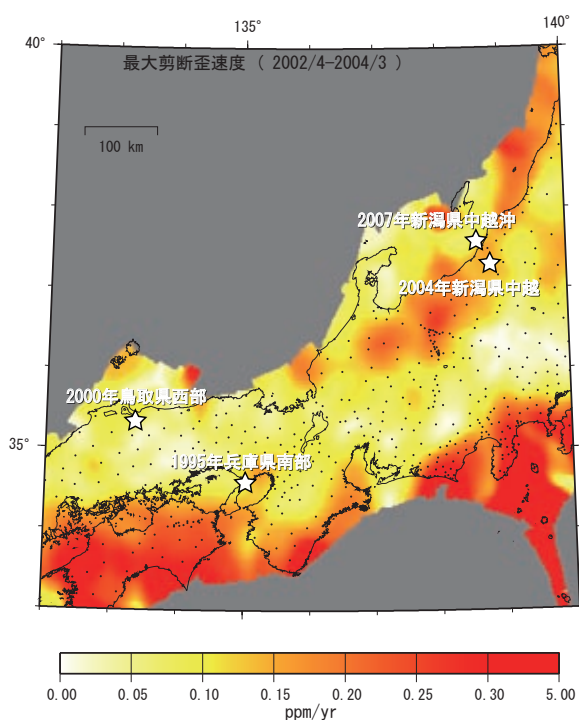
Fig.2(a)-(d) Maximum shear strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996-2007.



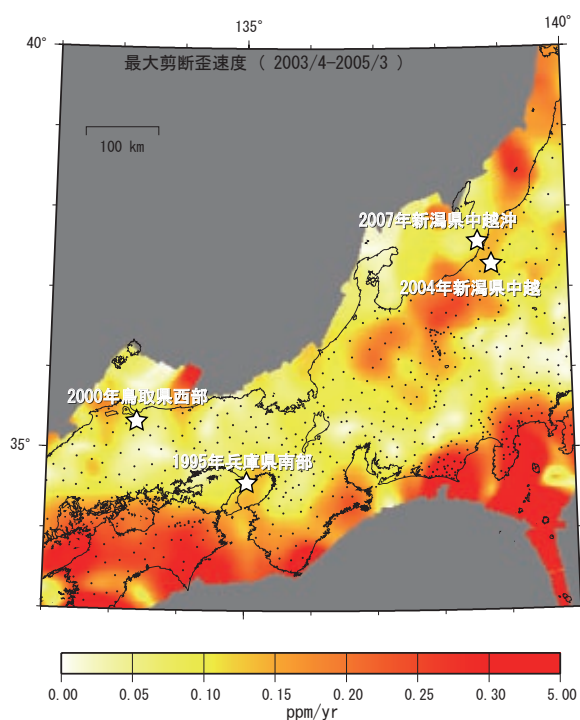
(e)



(f)



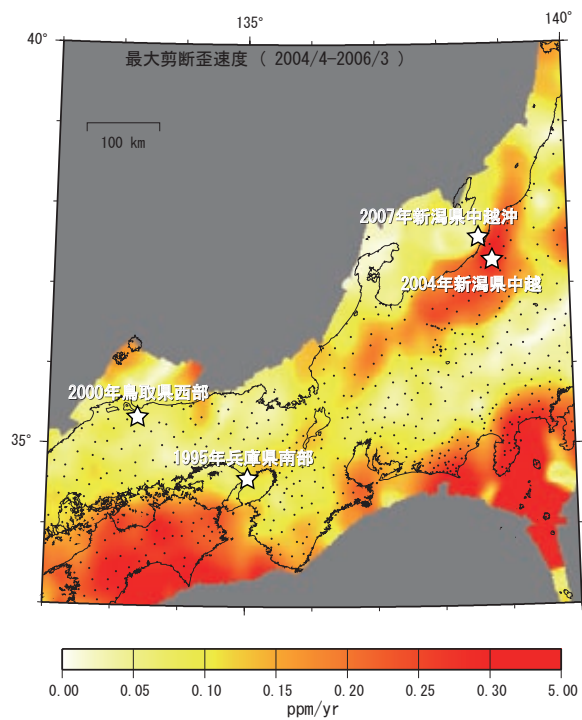
(g)



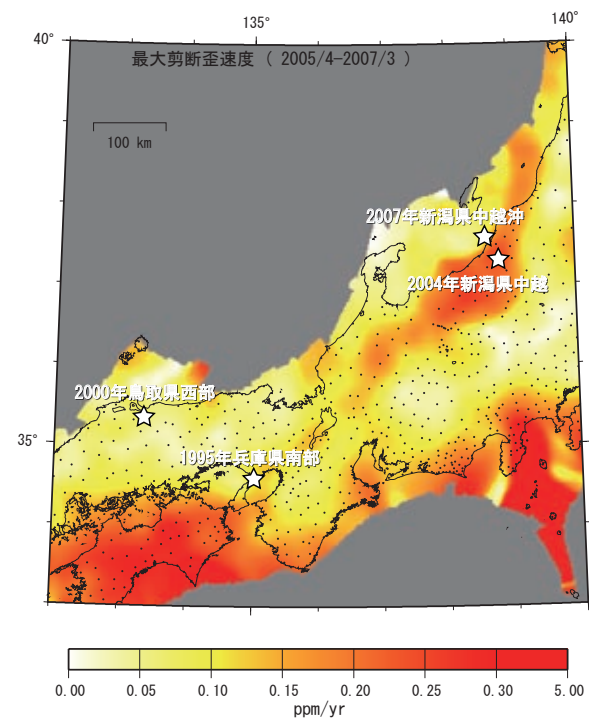
(h)

第2図 (e)-(h) GPS 連続観測データから推定した1996-2007年の最大剪断歪分布。

Fig.2(e)-(h) Maximum shear strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996-2007.



(i)



(j)

第2図 (i)-(j) GPS 連続観測データから推定した1996-2007年の最大剪断歪分布.

Fig.2(i)-(j) Maximum shear strain rate derived from continuous GPS measurements for 1996–2007.